

MRS-J

The Materials Research Society of Japan

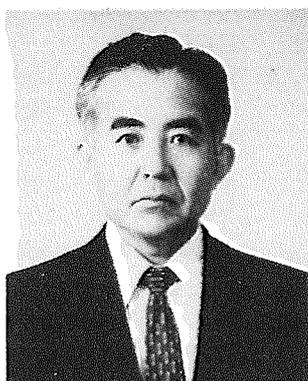
日本MRSニュース Vol. 3, No. 7, June, 1992

1992年6月20日発行

印刷 博秀社 東京都北区滝野川3-47-3 Tel. 03 (3910) 2436

発行 ©日本MRS・事務局 〒213 川崎市高津区坂戸100-1 株式会社ケイエスピー Tel. 044(819)2001; Fax. 044(819)2009

巻頭言



会長
長谷川 正木

会長就任の御挨拶に代えて

先進材料科学・技術研究会が満足して早くも3年の歳月が流れ、その後(IUMRSの一員として日本MRSはお墨付を貰った)を機会に日本MRSと改称してから2年6か月を経ました。

昨年度も川崎市溝の口、かながわサイエンスパークにおきまして、恒例の日本MRS年次総会(1991年12月12日)と学術シンポジウムが盛大に催されました。この総会の席上におきまして、本会の会長に推挙されましたが、この機会に日本MRSの概況を御報告致し御挨拶に代えさせて頂きたいと存じます。

昨年12月の総会の時点におきまして、日本MRSの会員数は、個人会員192名(学生会員14名、海外会員8名を含む)及び法人会員46名です。今後本会を益々発展させ、法人組織までに生長させるためには、会員数の増加は必須要件であります。会員各位の材料科学分野の研究者、法人への参画の働きかけを切にお願い申し上げます。

去る3月25日には、正式には日本MRS初めての幹事会(於、東大工学部)が開催され、本会の現況報告ならびに幹事会の役割分担(下記敬称略)が決定されました。幹事会メンバーは、金属、セラミックス、有機・高分子の三大材料分野からバランスを配慮して選出され、各役割分担が決められ、これにより今後は本会の重要事項はす

べてこの幹事会の審議・決定を経て実行に移されることとなります。

会長 長谷川正木(桐蔭学園横浜大工)

副会長 宗宮重行(西東京科学大工)

堂山昌男(西東京科学大工)

幹事役割分担

広報 吉村昌弘(東工大)

高井 治(名大工)

堀江一弘(東大工)

シンポジウム

長谷川正木(横浜大)

宗宮重行(西東京科学大)

堂山昌男(西東京科学大)

山田恵彦(西東京科学大)

企画 岸 輝雄(東大先端研)

田中一宣(電総研)

梶山千里(九大)

編集 宗宮重行(西東京科学大)

中村茂夫(神奈川大工)

会計 堂山昌男(西東京科学大工)

工藤徹一(東大生産研)

仲川 勤(明大工)

本年も昨年までと同様、2度の学術シンポジウム(第一回7月9日、宗宮実行委員長および第二回12月10日、11日、山本(良)実行委員長)、ともに川崎市・溝の口、かながわサイエンスパークにて)の開催が予定されております。現在、一般発表募集中ですので、会員の皆様の積極的な御応募をお待ちしております。(問合せ先:日本MRS事務局〒213 川崎市高

津区坂戸100-1(株)ケイ・エス・ピー 電話044(819)2001(県)

さらに来年夏には、下記要領にて、先進材料に関する第3回MRS国際コンファレンスの開催が決まっております。昨年11月のPreliminary Circularの配布に続いて、近々、1st Circularが配布される予定です。

International Union of Materials Research Societies — International Conference on Advanced Materials (略称 IUMRS-ICAM-93)(於、東京、池袋サンシャインシティ、1993年8月31日~9月4日)

主催 日本MRS、国際会議組織・委員会

共催 International Union of MRS、日刊工業新聞

コンファレンスは30余のシンポジウムセッションから成り、海外からも、招待講演者はもとより、各セッションとも多数の一般参加者も予定されており、先進材料に関する有意義で活発なシンポジウムが期待されております。

日本MRSもいよいよ任意団体から法人組織への脱皮の条件が整いつつある重要な時期にさしかかっていると申せます。このような時期に会長の大役を仰せつかり、その責任の重大さを痛感しております。非力ではございますが、全力を尽くす所存でございますので、会員各位の御支援、御助言を心からお願い申し上げます。

第3回年次総会開催

日本 MRS 第3回年次総会を1991年12月12日から川崎市高津区坂戸100-1「かながわサイエンスパーク」のイノベーションセンタービル KSP ホールにて開催された。以下に総会に上程し議決・承認された事項を報告します。

第3事業年度(1990年12月1日～1991年11月30日) 事業報告

1. 組織

個人会員および法人会員の増加につとめたが、見るべき成果をあげるにいたらなかった。

なお、評議員会、理事会、常任委員会についてはひきつづき未組織のままである。

1991年12月1日現在会員数

(90/12.1 現在 増減)

個人会員 170名 (166名 + 7)

学生会員 14名 (21名 △ 7)

法人会員 46口 (48名 △ 2)

海外会員 個人 8人 (4名 + 4)

法人 1口 (1口)

2. 学術シンポジウム、研究会、講演会の開催

(i) 第2回年次総会・学術シンポジウム

日 時 1990年12月13日 (木), 14日 (金)

場 所 川崎市かながわサイエンスパーク KSP ホール

内 容 記念講演 2件
第1シンポジウム (先進材料) 13件

第2シンポジウム (センサー材料) 10件

第3シンポジウム (シリカ系非晶質材料の不完全構造) (社)ニューガラスフォーラムと共催 27件

ポスターセッション (先進材料) 71件

(注) 財神奈川科学技術アカデミーの学協会等研究集会助成金をうけた。

(ii) 講演会 新素材研究委員会

日 時 1991年3月8日 (金)

場 所 川崎市かながわサイエンスパーク会議室

内 容 ①G. Missing : Synthesis of Ceramic Particles and Fibers by Spray Pyrolysis

②H. Schneider: Formation of Mullite from Noncrystalline Precursor

(iii) 講演会 新素材研究委員会

日 時 1991年3月16日 (土)

場 所 新宿区 理学電機学会議室

内 容 N. Claussen : Reaction Bonded Al-Oxide and Mullite

(iv) 新素材研究委員会

日 時 1991年3月22日 (金)

場 所 新宿区 理学電機学会議室

テーマ 新素材 3件

(v) 講演会 新素材研究委員会

日 時 1991年5月31日 (金)

場 所 新宿区 理学電機学会議室

内 容 R. Roy : Synthesis of Ceramics : A Hierarchical Analysis - Macro, Micro, Nano and Atomic Levels.

(vi) 学術シンポジウム

日 時 1991年7月11日 (金)

場 所 川崎市かながわサイエンスパーク KSP ホール

内 容 第1シンポジウム (光生

物材料研究の新展開) (電気化学協会生物工学研究会と共催) 7件

第2シンポジウム (アルミナ, アルミニウム化合物) 7件

ポスター 19件

(vii) 講演会 新素材研究委員会

日 時 1991年10月24日 (木)

場 所 川崎市かながわサイエンスパーク KSP ホール

テーマ アドバンスセラミックス 8件

(viii) 研究会 ジルコニア研究会

日 時 1991年11月21日 (木)

場 所 川崎市かながわサイエンスパーク 会議室

テーマ ジルコニアセラミックス 7件

ポスター 7件

(注1) 第4事業年度

第3回年次総会・学術シンポジウム

日 時 1991年12月12日 (木), 13日 (金)

場 所 川崎市かながわサイエンスパーク KSP ホールほか

内 容 記念講演 2件

第1シンポジウム (先進材料) 11件

第2シンポジウム (固体アクチュエータ) (日本工業技術振興協会と共催) 8件

第3シンポジウム (計算機支援による材料設計) (文部省科研費総合A「計算機支援による材料設計」と共催) 10件

ポスターセッション (先進材料) 36件

(注2) 1993年8月31日 (月) ~ 9月4日 (金) 第3回 MRS International Meeting on Advanced Materials を日刊工業新聞社と共催することとし、1991年10月12日 (土) 実行委員会、組織委員会を発足させた。

3. 内外の関係諸機関との連絡

(i) 国内先進材料関連諸学術団体と連絡し、そのシンポジウム等につき協賛した。

(ii) IUMRS (International Union of Materials Research Societies) の1991年5月 Strasborg で開催された会議には堂山副会長が、1991年12月5日 Boston で開催された会議には宗宮会長および堂山副会長がそれぞれ出席した。

(iii) また、1991年2月23日 Seoul

で開催された MRS Korea の創立総会には宗宮会長が出席した。その他米国 MRS, ヨーロッパ MRS, 中国 MRS, 台湾 MRS, インド MRS, オーストラリア MRS, メキシコ MRS, 韓国 MRS をはじめ各国の先進材料係学術団体との連絡をとった。

4. 会誌その他図書類の刊行

- (i) 「日本 MRS ニュース」2 回発行
- (ii) 学術シンポジウム, 研究会につき「講演要旨集」作成
- (注) 学術シンポジウム, 研究会における研究報告を論文集としてまとめた Transactions of the Materials Research Society of Japan, Vol. 2, Vol. 3 については当初予定より大幅

に遅れたが, 1992年1月には発行できる見込みである。

第4事業年度(1991年12月1日~1992年11月30日)事業計画

1. 研究組織の整備・確立
 - (i) 会則第14条(会議の開催)および第17条(委員会)の規定にもとづき, 評議員会, 理事会, 常任理事会および企画委員会, 編集委員会等を早期に組織し, 当会業務運営の計画的実施をはかる。
 - (ii) 当会の趣旨に賛同する個人会員ならびに法人会員の増加につとめ, 事業活動の確立をはかる。
2. 学術シンポジウム, 研究会, 講演会等の開催
 - (i) 第3回年次総会・学術シンポジウム(記念講演, シンポジウム-先進材料・団体アクチュエー

- タ・計算機支援による材料設計, ポスター, 先進材料, 製品紹介)の開催(1991年12月12, 13日 於川崎市 KSP ホール)
- (ii) 先進材料に関する学術シンポジウムの開催(1992年7月予定)
- (iii) 以上のほか, 会員の要望等を勘案し, 適宜, 研究会, 講演会, 見学会等を開催する。
- (iv) また, 1993年8月31日(月)~9月4日(金)東京・池袋において第3回 MRS International Meeting on Advanced Materials を開催することとし, 関係機関と協力し, その準備を進める。
- 3. 研究・調査の実施
 - (i) 必要に応じ研究委員会を設置し, 研究・調査を実施する。
- 4. 内外の関係諸機関との連絡

- および協力
- (i) 先進材料に関する国内各学会・諸団体との連絡および協力。
- (ii) International Union of Materials Research Societies (IUMRS) その他海外(特にアジア地域)における先進材料に関する学会, 諸団体との連絡および協力。
- 5. 会誌その他図書類の刊行
 - (i) 「日本 MRS ニュース」の発行(年4~6回予定)。
 - (ii) 学術シンポジウムにつき「講演要旨集」作成。
 - (iii) 学術シンポジウム, 研究会における研究報告につき論文集(「日本 MRS」, 「Transactions of Materials Research Society of Japan」)をとりまとめ刊行。

日本 MRS 会員名簿 (1991年12月13日)

法人会員

| 法人(事業所) |
|----------------------|
| 旭化成工業株式会社 |
| 旭硝子株式会社中央研究所 |
| 石川島播磨重工業株式会社技術研究所 |
| 小野田セメント株式会社セラミックス研究所 |
| 川崎製鉄株式会社技術研究本部 |
| 川崎炉材株式会社 |
| 京セラ株式会社総合研究所 |
| 共立窯業原料株式会社 |
| 黒崎窯業株式会社技術研究所 |
| 株式会社ケイエスピー |
| 株式会社神戸製鋼所機械事業部 |
| 三洋電機株式会社制御システム研究所 |
| 山陽特殊製鋼株式会社 |
| 昭和電工株式会社 |
| 新日鉄化学株式会社技術研究所 |
| 新日本製鉄株式会社中央研究本部 |

| 法人(事業所) |
|------------------|
| 住友軽金属工業株式会社技術研究所 |
| 住友金属鉱山株式会社 |
| 住友セメント株式会社 |
| 株式会社竹中工務店技術研究所 |
| 秩父セメント株式会社 |
| 東芝セラミックス株式会社 |
| 東芝タンガロイ株式会社 |
| 東陶機器株式会社基礎研究所 |
| 日産自動車株式会社中央研究所 |
| 株式会社日科機 |
| 日新製鋼株式会社新材料研究所 |
| 日清製粉株式会社生産技術研究所 |
| 日本化学陶業株式会社 |
| 財団法人日本板硝子材料工学助成会 |
| 日本ガイシ株式会社 |
| 日本研究開発工業株式会社 |

| 法人(事業所) |
|--------------------|
| 日本鋼管株式会社技術開発本部 |
| 日本セメント株式会社中央研究所 |
| 日本曹達株式会社 |
| 日本電子株式会社 |
| 日本特殊陶業株式会社 |
| 株式会社ノリタケカンパニーリミテド |
| 株式会社日立製作所デバイス開発センタ |
| 福島製鋼株式会社 |
| 松下電器産業株式会社中央研究所 |
| 三井造船株式会社 |
| 三井東圧化学株式会社総合研究所 |
| 三菱マテリアル株式会社企画開発部 |
| 三菱マテリアル株式会社中央研究所 |
| 株式会社村田製作所 |
| 理学電機株式会社 |
| ローヌブーランジャパン株式会社 |

正会員

| 氏名 | 所属機関 | 部課等 |
|-------|-----------------|-----|
| 相澤 益夫 | 東京工業大学生命理工学部 | |
| 明石 和夫 | 東京理科大学理工学部工業化学科 | |
| 浅井 滋生 | 名古屋大学 | |
| 浅野 淳 | 東海高熱工業(株)研究開発部 | |
| 芦塚 正博 | 九州工業大学工学部物質工学科 | |
| 阿部 光雄 | 東京工業大学理学部化学科 | |
| 伊熊 泰郎 | 神奈川工科大学 | |
| 石田 洋一 | 東京大学生産技術研究所 | |
| 石山 正明 | (株)井上ジャパックス研究所 | |
| 石崎 幸三 | 長岡技術科学大学 | |
| 伊藤太一郎 | 大阪府立大学工学部金属工学科 | |
| 猪股 吉三 | 科学技術庁無機材質研究所 | |
| 乾 智行 | 京都大学工学部石油化学教室 | |

| 氏名 | 所属機関 | 部課等 |
|-------|----------------|-----|
| 岩田 幸一 | 住友電気工業(株)大阪研究所 | |
| 岩間 三郎 | 大同工業大学応用電子工学科 | |
| 上野 明 | 豊田工業大学 | |
| 植松 敬三 | 長岡技術科学大学 | |
| 植村 賢介 | ノートン(株)AC事業部 | |
| 内野 研二 | 上智大学理工学部 | |
| 梅屋 薫 | 東北大学 | |
| 瓜生 敏之 | 東京大学生産技術研究所 | |
| 遠藤 民生 | 三重大学工学部電気工学科 | |
| 大塚 和弘 | 筑波大学物質工学科 | |
| 大塚 寛治 | 日立製作所デバイス開発センタ | |
| 大津賀 望 | 東京工業大学 | |
| 大中 逸雄 | 大阪大学工学部材料開発工学科 | |

| 氏名 | 所属機関 | 部課等 |
|-------|--------------------|-----|
| 大濱 嘉彦 | 日本大学工学部建築学科 | |
| 大森 和彦 | 名古屋大学工学部鉄鋼工学科 | |
| 緒方 直哉 | 上智大学理工学部化学科 | |
| 沖 幸男 | 近畿大学理工学部 | |
| 荻原 博之 | 日経 BP 社 | |
| 奥富 功 | | |
| 折田 政寛 | 電気化学工業(株)総合研究所 | |
| 鍵本 潔 | (財)金属系材料研究開発センター | |
| 梶山 千里 | 九州大学工学部 | |
| 加藤 昭夫 | 九州大学工学部応用化学科 | |
| 加藤 直 | 小野田エー・エルシー(株)開発研究所 | |
| 金丸 文一 | 大阪大学産業科学研究所 | |
| 可児 明 | イーグル工業(株)技術本部研究部 | |

| 氏名 | 所属機関 | 部課等 | 氏名 | 所属機関 | 部課等 | 氏名 | 所属機関 | 部課等 |
|-------|-------------------------|-----|--------|------------------------------------|-----|-------|-----------------------|-----|
| 亀井 一身 | | | 高橋 清 | 東京工業大学電子物理工学科 | | 本間 寛臣 | 豊橋技術科学大学 | |
| 河合 七雄 | 大阪大学産業科学研究所 | | 高橋 武彦 | 名古屋大学 | | 正木 新一 | (株)TKX | |
| 菊池 香成 | 正華産業(株)商品開発研究所 | | 高屋 征輝 | 信越化学工業(株)研究開発部 | | 松井 和則 | 関東学院大学工学部工業化学科 | |
| 木村 雄二 | 工学院大学化学工学科 | | 田草川信雄 | 信州大学工学部 | | 松井 利之 | 大阪府立大学工学部金属工学科 | |
| 木村 義行 | 日本重化学工業(株)開発本部 | | 武井 英雄 | 広島工業大学 | | 松井 正顕 | 名古屋大学工学部 | |
| 清永 欣吾 | 日立金属(株)安来工場冶金研究所 | | 武田 修一 | 小松製作所(株)研究本部材料研究所 | | 松岡 洋史 | 名古屋大学工学部鉄鋼工学科 | |
| 工藤 徹一 | 東京大学生産技術研究所 | | 田代 仁 | 京都大学 | | 松下 昭 | 神奈川大学工学部 | |
| 黒澤 好樹 | (株)小糸製作所神奈川研究所 | | 田中 久吾 | ロームアンドハースジャパン(株)研究開発部 | | 松原 博義 | NKK | |
| 黒松 彰雄 | (株)応用磁気研究所 | | 田中 千秋 | 東レ(株)樹脂研究室 | | 松久 忠彰 | 日本ガイシ(株)開発本部 | |
| 桑原 守 | 名古屋大学工学部 | | 棚瀬 繁雄 | 通商産業省工業技術院大阪工業技術試験所 | | 松山 晋作 | 東洋電機製造(株)技術研究所 | |
| 合田 進 | 近畿大学理工学部 | | 田中 英彦 | 科学技術庁無機材質研究所 | | 間瀬 博 | 大阪府立大学工学部金属工学科 | |
| 河内 利仁 | オリンパス光学工業(株)技術開発本部研究企画部 | | 堂山 昌男 | 西東京科学大理工学部 | | 三小田真彬 | イオン工学センター | |
| 河野 紀雄 | 千葉工業大学 | | 長沢 可也 | 湘南工科大学電気工学科 | | 三田 達 | 日本ダウ・コーニング研究センター | |
| 国府 三郎 | 横浜ケミカルズ(株) | | 中島 紀一 | 新東工業(株)東京研究所 | | 三友 護 | 科学技術庁無機材質研究所 | |
| 越村 正己 | 三菱マテリアル(株)セラミックス研究所 | | 中西 暢 | 信越化学工業(株)研究開発部 | | 水野 正雄 | 名古屋工業技術試験所セラミックス基礎部 | |
| 小杉 哲夫 | 日立化成工業(株)研究開発本部 | | 難波 征太郎 | 東京工業大学理学部化学科 | | 皆木 敏宏 | ニチアス(株)企画開発部 | |
| 小寺 嘉秀 | | | 中西 典彦 | 甲南大学理学部化学教室 | | 湊 孝夫 | 凸版印刷(株)総合研究所 | |
| 小林 武彦 | ニッコー化学研究所(株) | | 中山 明 | (株)神戸製鋼所機械事業部産業機械本部 | | 宮本 明 | 京都大学工学部石油化学科 | |
| 小松 登 | (株)豊田中央研究所 | | 西田 晴夫 | 大阪窯業(株) | | 向井田健一 | 山蘭工業大学 | |
| 米屋 勝利 | 横浜国立大学物質工学科 | | 西山 善次 | 大阪大学 | | 村川 恭平 | 富士電気化学(株) | |
| 近藤 明 | 東海カーボン(株)富士研究所 | | 新田 英郎 | ユニオン・カーバイド・サービス(株) | | 元島 栖二 | 岐阜大学工学部応用化学科 | |
| 権藤 靖夫 | 横浜国立大学工学部電子情報工学科 | | 入戸野 修 | 東京工業大学工学部金属工学科 | | 森井 賢二 | 大阪府立大学工学部 | |
| 逆井 基次 | 豊橋技術科学大学物質工学科 | | 丹羽 幹 | 名古屋大学工学部合成化学科 | | 守吉 佑介 | 科学技術庁無機材質研究所 | |
| 阪口 清和 | 大阪工業大学 | | 布村 成具 | 東京工業大学精密工学研究所 | | 諸岡 良彦 | 東京工業大学資源化学研究所 | |
| 佐久間健人 | 東京大学工学部材料科学科 | | 橋田 俊之 | 東北大学工学部材料強度研究施設 | | 門間 英毅 | 科学技術庁無機材質研究所 | |
| 佐々木和也 | 昌栄亀井(株) | | 長谷川正木 | 桐蔭学園横浜大学工学部 | | 山口 正泰 | バイオニア(株) | |
| 佐々木 博 | 三菱マテリアル(株)中央研究所 | | 早川 和久 | 信越化学工業(株)合成技術研究所 | | 山下 広順 | 宇宙科学研究所 | |
| 佐々木靖男 | 科学技術庁金属材料技術研究所機能特性研究部 | | 早川 信 | 東陶機器(株)基礎研究所ニューセラミック研究部機能性セラミック研究室 | | 山下 修 | 大阪産業大学教養部物理(社)工学開発研究所 | |
| 佐藤 文人 | 日本触媒化学工業(株)中央研究所 | | 早川 元造 | 鳥取大学工学部 | | 山田 恵彦 | (社)工学開発研究所 | |
| 篠崎 征夫 | (株)竹中工務店技術研究所 | | 原 正彦 | (特)理化学研究所 | | 山田 泰三 | 日本ティーガル(株)技術管理部 | |
| 島田 仁 | (社)日本鉄鋼協会 | | 久松 敬弘 | 日新製鋼(株) | | 山田 豊章 | 名古屋工業技術試験所 | |
| 島田 昌彦 | 東北大学工学部分子化学工学科 | | 久本 方 | 久本技術士事務所 | | 山名 一男 | 石川県工業試験所化学食品部 | |
| 清水 滯 | 日東紡績(株)富久山工場 | | 平井 英史 | 東京理科大学工学部工業化学科 | | 山本 良一 | 東京大学工学部金属材料学科 | |
| 下土居 豊 | 旭化成工業(株)開発技術本部企画管理部 | | 平田 好洋 | 鹿児島大学工学部応用化学科 | | 四方 良一 | 大阪セメント(株)新材料研究部 | |
| 新矢 靖夫 | (株)陶研産業第1技術部 | | 馬場 昌之 | ノートン(株)AC事業部 | | 横瀬 敬二 | 東京熱処理工業(株)真空事業部技術課 | |
| 須賀 唯知 | 東京大学工学部精密機械工学科 | | 笛木 和雄 | 東京理科大学理工学部 | | 横地 弓夫 | 八戸工業大学 | |
| 鈴木 敏久 | 第一稀元素化学工業(株)営業本部企画開発課 | | 福長 脩 | 東京工業大学工学部無機材料工学科 | | 吉村 昌弘 | 東京工業大学工業材料研究所 | |
| 角江 登 | 熊本工業大学 | | 藤井 忠臣 | (株)日立造船技術研究所第1研究センター | | 若井 史博 | 名古屋工業技術試験所 | |
| 諏訪 幸男 | 秩父セメント(株) | | 藤村 紀文 | 大阪府立大学工学部金属工学教室 | | 和田 重孝 | (株)豊田中央研究所 | |
| 関谷 道雄 | 工学院大学 | | 鮎谷 清司 | (財)ファインセラミックスセンター試験研究所 | | 渡辺 明男 | 科学技術庁無機材質研究所 | |
| 宗宮 重行 | 西東京科学大学 | | 堀 三郎 | (株)豊田中央研究所 | | 渡辺 徹 | 東京都立大学工学部工業化学科 | |
| 高木 研一 | 東洋鋼鋳(株)技術研究所 | | | | | 渡辺 濱夫 | 群馬大学工学部 | |
| 高橋 克明 | 岡山大学 | | | | | 渡辺 龍三 | 東北大学工学部材料加工工学科 | |

学生会員

| 氏名 | 大学名 | 学部・学科 | 氏名 | 大学名 | 学部・学科 | 氏名 | 大学名 | 学部・学科 |
|-------|-----------------|-------|-------|-------------------|-------|-------|------------------|-------|
| 井上 裕文 | 大阪大学溶接工学研究所 | | 太田 昌克 | 名古屋大学工学部鉄鋼工学科 | | 大橋 直樹 | 東京工業大学工学部無機材料工学科 | |
| 大西 慶治 | 大阪大学溶接工学研究所 | | 土井 正晶 | 名古屋大学工学部鉄鋼工学科 | | 寺本 吉伸 | 東京工業大学無機材料工学科 | |
| 山口 淳 | 京都大学化学研究所 | | 杉山 弘 | 東京工業大学工学部金属工学科 | | 成田 博 | 東京工業大学無機材料工学科 | |
| 中山 正章 | 神奈川工科大学 | | 中田 博道 | 名古屋大学工学部 | | 三宅 達朗 | 東京工業大学無機材料工学科 | |
| 西原 時弘 | 大阪府立大学工学部金属工学教室 | | 浅川 寿昭 | 東海大学工学部通信工学科 | | 牧 順一 | 東京工業大学無機材料工学科 | |
| 三谷 誠司 | 名古屋大学工学部鉄鋼工学科 | | 小坂 民生 | 東洋大学工学部応用化学科 | | 大島 司 | 関東学院大学工学部工業化学科 | |
| 伊東 哉 | 名古屋大学工学部鉄鋼工学科 | | 川崎 雅司 | 東京大学工学部化学エネルギー工学科 | | | | |

海外会員

| 氏名 | 所属 | 氏名 | 所属 | 氏名 | 所属 |
|---------------------------------------|-----------------------------|-----------------------|--|-------------------|--|
| <法人> | | Chon Min Che | Chon International Co.,Ltd. | Kim Kee Hyong | Korea Advanced Institute of Science and Technology (Korea) |
| E.I.du Pont de Nemours & CO. (U.S.A.) | | Lloyd J. Guggenberger | E.I. du Pont de Nemours & Co. (U.S.A.) | Edward Mark Lenoe | U.S.Ar. = Far East (U.S.A.) |
| <個人> | | William Y. Hsu | 〃 | 朴 順子 | Seoul 大学校 (Korea) |
| R.P.H.Chang | Northwestern Univ. (U.S.A.) | | | | |

MRS-J シンポジウム報告

1991年12月12~13日、開催された日本MRS 学術シンポジウムでは先進材料、団体アクチュエータ、計算機支援による材料設計のシンポジウムとポスターセッションが発表された。

- 12月12日、13日の両日に第一シンポジウム先進材料（責任者、宗宮重行、堂山昌男、長谷川正木）で開催された。プログラムは下記の通りである。
- (1) 多孔質シリコン層の微細構造 入戸野 修（東京工業大学）
- (2) 金属間化合物の合金設計 三島良直（東京工業大学）
- (3) 層状物質の低次元性を利用した新物質の開発について Fumio Oouchi (E. I Dupon Nemoirs and Co.)
- (4) 炭素クラスター表面上のダイヤモンド薄膜の核発生 R. P. H. Chang (Northwestern Univ.)
- (5) 未来エレクトロニクスのためのインテリジェント材料設計 高橋 清（東京工業大学）
- (6) アモルファス高分子を用いた圧電体 中条利一郎（東京工業大学）
- (7) 金属間化合物の高温酸化 丸山俊夫（東京工業大学）
- (8) プラズマCVD法によるダイヤモンド炭素膜の合成 鎌田喜一郎（長岡技術科学大学）
- (9) 炭素から炭化珪素 山田恵彦（西東京科学大学）
- (10) ハイドロサーマル反応とセラミックス 宗宮重行（西東京科学大学）
- (11) 「ハイドロサーマル」カーボン R. C. De Vries (G. E., Retired)
- これらの論文は Transactions of the Materials Research Society of Japan の一巻として出版される予定であり、一流の権威者による解説は大変有益な講演であった。(宗宮重行)
- 1991年12月の年会での第3シンポジウム（責任者：西東京科学大学 堂山昌男）として「計算機支援による材料設計」シンポジウムが同名の文部省科学研究費総合A（研究代表者：西東京科学大学）と共催で行われた。そのプログラムは、
- (1) Theoretical Investigation of Phase Stability of a III-V Semiconductor Alloy on a Substrate : T. Mohri and K. Nakamura (Hokkaido Univ.)
- (2) New Granular Modeling of Plastic Carrier Particle in Electro-photographic Process : T. Aizawa (Univ. of Tokyo)
- (3) Design Automation in Multiple Criteria Problem Using Knowledge Engineering and Fuzzy Control : G. Yazawa, S. Yoshimura and Y. Mochizuki (Univ. of Tokyo)
- (4) Electronic States of Dislocations in Semiconductors : K. Masuda-Jindo (Tokyo Institute of Technol.)
- (5) Structural Fluctuations of Gold Microclusters : T. Uchida, M. Matsui and M. Doyama (Nishi Tokyo Univ.)
- (6) Breakdown Properties of Random Systems with Distributed Conductance : I. Ootani, Yoshiko H. Ohashi, K. Ohashi and M. Fukuchi (Keio Univ. and Tamagawa Univ.)
- (7) Computer Simulation on Defects in Anthracene Crystals : N. Ide, I. Okada and K. Kojima (Yokohama City Univ.)
- (8) A Quantum Operator of Force and Its Applications: M. Seno and Y. Suzuki (Mie Univ.)
- (9) Characterization of the Lamellar Structure in Ti-Rich TiAl Compounds by High-Resolution Electron Microscopy and Computer Image Simulation : H. Inui and M. Yamaguchi (Kyoto Univ.)
- (10) Molecular Dynamics Computer-Simulation of Point Defect Clusters and Nucleation of Void in Irradiated Copper : Y. Shimomura, R. Nishiguchi, I. Diaz de la Rubia and M. W. Guinan (Hiroshima Univ. and Lawrence Livermore National Lab.)
- であった。このグループの文部省科学研究費としては総合Bで1年、総合Aで3年行われた。本シンポジウムの発表とこれまでの研究成果は29論文、262ページ、Transaction of MRS-Jの9巻として平成4年5月に発行された。また、このグループが大学関係の研究者コアとして、The 1st International Conference on Computer Applications to Materials Science and Engineeringとして1990年サンシャインシティで(CAMSE'90)、1992年9月22日から25日までパシフィコ横浜で(CAMSE'92)開催される。CAMSE'90のプロシーディングスはElsevier社から出版されたし、CAMSE'92のプロシーディングスもElsevierから出版される。またこれらを契機として英国のInstitute of PhysicsよりModelling and Simulation in Materials Society and EngineeringとオランダのElsevier社からComputational Materials Societyという国際学術誌が本年秋発刊されることとなっている。計算機を応用した材料の設計シミュレーションは急速に広まりつつあり、今後の発展が期待される。(堂山昌男)

■このほかにポスターセッションとして下記の報告があり、○印の論文の発表者が奨励賞を受賞した。ポスターセッションプログラム

- B-セッション
- (1) Membrane With Micro-hole Array Made of Carbon Fiber Epoxy Composite/井口悦子(桐蔭学園横浜大学)
 - (2) ESR of Tempol in Sol-Gel Glasses/柳沼泰之(関東学院大学工学部)
 - (3) Crystal Structure Change in Sputtered BaTiO₃ Films/油谷英明(上智大学理工学部)
 - (4) Plasma Polymerization of Organosilazane Derivatives/舟越千弘(東洋大学工学部)
 - (5) Diamond Thin Films from Solid Gel by The Hot-Filament CVD Method/千葉隆宏(東洋大学工学部)
 - (6) Preparation of Metal Microparticles in an Electroconductive Poly(Hydroquinone/p-Benzoquinone) Films/菅野 宏(神奈川大学工学部)
 - (7) Preparation of Sm-Co Films by Electroplating Method from Formamide Solution and Their Magnetic Properties/高沢 代(神奈川大学工学部)
 - (8) Preparation Metastable Tetragonal Phase by Melting HfO₂-RO_{1.5}/高橋平四郎(神奈川大学工学部)
 - (9) Photoelectrochemical Memory System Using Azo Compound LB Films/榎本 正(東洋大学工学部)

M-セッション

- ① Preparation of Calcium-Deficient HAp and Dense HAp-Chitosan Composite by Hydrothermal Hot-Pressing/山本圭一(高知大学理工学部付属水熱化学実験所)
- (2) Preparation of LiNbO₃ Thin Films on Nb Metal Substrate by Hydrothermal Methods/山口英将(東京工業大学工業材料研究所)
- (3) Effect of PVA/Al₂O₃ Adsorption on Binder Segregation in Cast Body/菅 剛史(長岡技術科学大学)
- (4) High Active Polymer-Supported Catalyst for Carbon Dioxide Fixation/山下 純(神奈川大学工学部)
- (5) Metal Collection Using Porous Chelating Hollow-Fiber Membrane/小西聡史(東京大学大学院工学部研究科)
- (6) Oxygen Diffusion and High Temperature Creep of MgO Dispersed With ZrO₂/杉山寿生(神奈川工科大学)
- (7) The Inorganic Anion Exchangeable by Hydrotalcite Like Compounds/本多賢一(東京工業大学理工学部研究科)
- (8) Ion-exchange Properties of Crystalline Tantalum Acid/井上能博(東京工業大学理工学部研究科)
- (9) Preparation of Titanium Double Oxide Films on TiAl Alloy by Hydrothermal Treatment/水沼昌平(東京工業大学工業材料研究所)
- (10) Synthesis of New Polyimide Membranes Containing Dimethylsiloxane Structure and Their Gas Perm-

- selectivity/西村利明(明治大学理工学部)
- ⑪ Liquid Crystalline Complexes Build Through Selective Intermolecular Hydrogen Bonding/木原秀元(東京大学工学部)
 - (12) Synthesis and Liquid Crystalline Properties of Thermotropic Polyurethanes/李 鐘百(東京大学生産技術研究所)
 - ⑬ Destruction Mechanism of Multilayer Ceramic Actuators/吉田 厚(上智大学理工学部)
- S-セッション
- (1) Structural Analyses of Fe System Soft Magnetic Thin Films by Mössbauer Effect/宮崎雅弘(長岡技術科学大学化学系)
 - ② Effects of Annealing on the Electrical Conductivity of Fluorine-Phase in the R₂O₃-Ta₂O₅ Systems/金 信(東京工業大学工業材料研究所)
 - (3) Factors Affecting the Formation of Apatite Whisker/須田洋幸(東京工業大学工業材料研究所)
 - ④ Machinable Nanocomposite/宇野智子(HOYA 材料研究所)
 - (5) Topochemical Formation of Macrocyclic Poly(oxymethylene) by Heterogenous Cationic Reaction/池田 努(ポリプラスチック研究センター)
 - (6) Poly (Hexafluoro-1, 3-Butadiene) by Anionic Polymerization/成田 正

- (埼玉工業大学)
- ⑦ Growth and Superconductivity of La_{2-x}Sr_xCuO₄ Single Crystals/田中 功(山梨大学工学部)
 - (8) Molecular Orbital Approach to Stress Corrosion of Glass/内田 希(長岡技術科学大学化学系)
 - (9) Characterization of the Molecular Orientations by Second Harmonic Generation Coherent Interferometry/佐藤 治(東京大学工学部研究科)
 - ⑩ Photon-Gated Photochemical Hole-Burning by Two-Color Sensitization of a Photoreactive Polymer Via Triplet Transfer/町田真二郎(東京大学工学部)
 - (11) Synthesis and Properties of Poly(Hydroxyurethanes) Prepared by Polyaddition Reaction of Bis(five-membered cyclic carbonyl) and Diamine/木原伸浩(東京工業大学資源研究所)
 - (12) First Example of Polyspiroorthocarbonate: A Novel Spiro Ladder Polymer/小松伸一(東京工業大学資源研究所)
 - ⑬ Ring-Opening Polymerization of Cyclic Carbonates as Novel Expanding Monomers and Volume Change during Polymerization/有賀利郎(東京工業大学 資源研究所)
 - (14) Effect Amount of Atmospheric Element Manufacture Materials of Perovskite Structure/福久達也(日新電機株式会社)

MRS-J 学術シンポジウム

日本 MRS 学術シンポジウム

主催 日本 MRS

日時 1992年7月9日(木)10:00-19:00

場所 KSP ホール(川崎市高津区坂戸3-2-1, 東急田園都市線溝の口, JR 南武線武蔵溝の口下車, 徒歩12分。市バス(第三京浜入口行) NEC 前下車

徒歩1分, KSP までの直行シャトル便が常時運行されています)

連絡先 川崎市高津区坂戸3-2-1 西304 (株)ケイエスピー 縣, 齋藤
Tel 044(819)2001 fax 044(819)2009

テーマ

第1シンポジウム: アルミニウム基複合材料の研究・開発の現状と将来展望

責任者: 神尾彰彦(東京工業大学)

村上 雄(西東京科学大学)

第2シンポジウム: ジルコニアセラミックス

責任者: 正木孝樹(東レ)

吉村昌弘(東京工業大学)

宗宮重行(西東京科学大学)

参加費(資料代を含む)

会員 法人・個人

5,000円/人 (学生 無料)
 非 会 員 法 人・個人
 10,000円/人 ()
 懇親会費 法人・個人
 5,000円/人 (学生5,000円/人)

第1シンポジウム
 テーマ：アルミニウム基複合材料の研究・開発の現状と将来展望

10:00 開会
 10:00-12:00 講演
 (1) 強化材と溶湯のぬれ性 (早稲田大) 中江秀雄
 (2) セラミックス繊維強化金属基複合材における界面の適合性 (東京工業大) 三島良直
 (3) ウィスカー強化アルミニウム基複合材料の機械的性質 (日本大) 金子純一

12:00-13:00 昼食
 13:00-15:40 講演
 (4) SiC 粒子強化アルミニウム基複合材料の疲労き裂伝播 (東京工業大) 熊井真次
 (5) 複合材料の環境裂化-孔食, 応力腐食

疲労- (東京工業大) 水流 徹
 (6) 複合材料の特性と周辺技術及び応用製品の開発 (アルキヤンアジアリミテッド) 江部陽一
 (7) 複合材料のピストンへの応用 (イズミ工業) 荻原俊男

15:40-16:00 コーヒーブレイク
 16:00-17:30 ポスターセッション/現在の研究・開発状況
 17:30-19:00 懇親会 (第2シンポジウムと合同)
 (注) 「ポスター」発表者を公募しています。

第2シンポジウム
 テーマ：ジルコニアセラミックス

10:00 開会
 10:00-12:00 講演
 (1) 光コネクタフルール (NTT) 杉田悦治
 (2) EVD 法を用いた SOFC の製造 (大阪ガス) 一本松正道
 (3) ジルコニア発熱体の開発とその応用 (品川白煉瓦) 浅見 肇

(4) ジルコニアにおける多様の準安定要因とその熱的安定性への影響 (東京工業大学) 吉村昌弘

12:00-13:00 昼食
 13:00-15:40 講演
 (5) Y-TZP の熱衝撃抵抗 (東北大) 高田昌彦
 (6) ジルコニア電解質とペロブスカイト酸化物電極との化学反応性について (化学技術研究所) 横川晴美
 (7) ジルコニセラミックスの超塑性 (東京大) 吉沢友一
 (8) ジルコニア粉末 (秩父セメント) 秋葉徳二
 (9) 変態強化型ジルコニア (東レ) 正木孝樹

15:40-16:00 コーヒーブレイク
 16:00-17:30 ポスターセッション
 17:30-19:00 懇親会 (第1シンポジウムと合同)
 (注) 1. 講師については一部依頼中です。
 2. 「ポスター」発表者を公募しています。

MRS-J セミナーの案内

先端物質工学の講演と分析セミナー

物質工学の研究に携わる国内外の中核研究者, 技術者, 学生の方々を対象に, 粉体, 半導体, 超伝導の分野でご活躍されている先生方に, 先端物質工学の動向について, ご講演を頂き, 又, 分析技法の実技を (TEM/EDS, SEM/WDS, Powder Analysis) 装置を直接担当されている技術の方々に直接指導して頂きます。

記

主 催 MRS-JAPAN
 協 賛 西東京科学大学物質工学科・日本電子(株)
 期 日 平成4年10月15日(木)~16日(金) 2日間
 会 場 日本電子(株) 〒196 東京都昭島市武蔵野3-1-2 (Tel 0425-42-2135)
 参加費用 講演と分析技術 2日間(昼食2, 懇親会, テキスト代含む)
 ◎会員 9,000円, 学生 3,000円
 講演のみ聴講 1日間(昼食1, 懇親会, 講演資料代含む)
 ◎会員 5,000円
 参加定員 講演と分析技術 30名, 講演のみ聴講 20名
 講演会は定員50名, 分析技術は30名とさせていただきます。ご希望コースをご記入下さい。ただし, 定員になり次第締め切らせて頂きますので, あらかじめご了承下さい。
 外国国籍者 海外の大学, 官公庁研究所職員, 学生は, 先着順10名に限り, 参加費免除。海外の学生は先着10名に限り, ホテル代

15,000円を支給する。
 申込手続き 国内外共に, 所定用紙に必要事項を記入し, 郵送, 又は Fax 0554 (63) 4431 にて西東京科学大学物質工学科井上嘉あてお申込み下さい。折り返し承諾書をお送りしますので, 下記の口座に参加費を入金して下さい。
 口座名 MRS-JAPAN 講習会 山梨中央銀行上野原支店 普通預金 №0486151
 問合せ先 西東京科学大学物質工学科 井上 嘉 〒409-01 山梨県北都留郡上野原町八ツ沢2525 Tel 0554(63)4411 内線 2613; Fax 0554(63)4431
 MRS-JAPAN 〒213 川崎市高津区坂戸100-1 Tel 044(891)2001

プログラム
 10月15日(木)
 9:30~9:50 受付
 10:00~10:10 ごあいさつ (MRS-Japan 副会長) 宗宮重行
 10:10~11:00 半導体材料の現状と展望

(西東京科学大学電子・情報科学科) 松沢剛雄
 11:00~11:50 半導体素材と評価 (日本電子) 蒲谷 彰
 11:50~13:00 昼 食
 13:00~13:50 超伝導素材と評価 (日本電子) 柴富邦夫
 14:40~15:00 休 憩
 15:00~16:40 工場見学
 17:00~18:30 懇親会ごあいさつ (MRS-Japan副会長) 堂山昌男
 10月16日(金)
 10:00~12:00 講義, 分析試料作成法 (日本電子)
 12:00~13:00 昼 食
 13:00~16:30 分析装置による実習 (日本電子)
 分析装置の実習は, お申込みされた装置別に分かれて実習を行います。
 A班 透過形電子顕微鏡/エネルギー分散形 X線分光器 (JEM-2010/EDS) 実習 10名

B班 走査形電子顕微鏡/波長分散形X線分光器 (JXA-8600/WDS, JSM-6300F) 実習 10名

C班 湿式, 乾式, 粒度分析装置 (JSM-5300 LV ヘロアンドロドス) 実習 10名

日本 MRS 1992年学術シンポジウム講演募集

主催 日本 MRS
日時 1992年12月10日~11日
場所 川崎市高津区坂戸100-1 神奈川サイエンスパーク (KSP)

プログラム

開会挨拶 日本 MRS 会長 長谷川正木
御挨拶 神奈川サイエンスパーク理事長 齋藤進六
特別講演 プラズマ科学の現状と将来
明石和夫 (東京理科大)
有機・無機ハイブリッド材料
三田達 (日本ダウコーニング)

シンポジウム I エコマテリアル——地球環境と材料

チェア 山本良一, 古林栄一, 吉村昌弘
招待講演 環境問題と科学技術の方向
浦野紘平 (横浜国大工)
地球環境浄化材料
橋本功二 (東北大金研)
リサイクルを前提とした合金学
古林英一 (金材技研)
生分解性プラスチック
土肥義治 (東工大資源研)
廃棄物再資源化の現状と課題
和田安彦 (関西大学工)
自動車用環境調和材料
大内千秋 (NKK 中研)

シンポジウム II 光電子材料

チェア 堀江一之, 工藤徹一, 田川精一
招待講演 有機非線形光学材料
宮田清蔵 (東京農工大)
パッシブ表示材料
馬場宣良 (都立大)
フォト及び電子線レジスト
野々垣三郎 (日立中研)
液晶複合膜の電気光学効果
梶山千里 (九大工)
低次元半導体の光物性
松本信雄 (NTT 基礎研)

シンポジウム III 先進材料の機械的性質に境界はあるか

チェア 牧島亮男, 佐久間健人, 吉村昌弘
招待講演 高強度マシナブルガラスセラミックスの開発
宇野智子 (HOYA 材料研)
高強度 Si₃N₄系セラミックスの設計
三友 護 (無機材料研)
高強度 ZrO₂セラミックスの開発
四方良一 (大阪セメント)
高強度鉄鋼材料の開発
落合征雄 (新日鉄・君津)
高比強度 Al 合金
菅野幹宏 (東大工)
高強度金属間化合物
山口正治 (京大工)

セラミックスの超塑性
佐久間健人 (東大工)
金属の超塑性
東健司 (大阪府大工)

シンポジウム IV 先端材料のトピックス

チェア 仲川 勤
招待講演 ゼオライト——最近の進歩
村上雄一 (名大工)
多核オキソ材料の新展開
山瀬利博 (東工大資源研)
ケイ素含有ポリマー材料の新展開
仲川 勤 (明大理工)
光学分割用材料
西郷和彦 (東大工)

発表申込締切 1992年 8月31日

参加費 会員 無料, 非会員 10,000円, 学生 2,000円

要旨集 5,000円, 懇親会 5,000円

発表申込要項 講演内容は, シンポジウムの内容にふさわしいもの (既発表の研究も可)。

はがきまたはファクシミリに下記の事項を記入のうえ, 申し込んで下さい。①タイトル ②発表者 ③所属 ④連絡先 ⑤希望シンポジウム名 ⑥口頭またはポスター発表の区別。
講演の採否及びプログラム編成はプログラム委員会に一任を願います。

要旨締切 A4判1ページ。9月末日締切。

申込先 〒213 川崎市高津区坂戸 3-2-1

西 304 (株)ケイエスピー 縣又は齋藤

電話 044 (819) 2001 ; Fax 044 (819) 2009

IUMRS からのご案内

IUMRS-ICAM-93のお知らせ

International Conference on Advanced Materials (ICAM) が再び日本で開催されます。

第1回は東京のサンシャインシティで1988年に, 第2回はフランスのストラスブールで1991年に, いずれも成功裡に開催されました。その後, MRSのInternational Union (IUMRS) が設立され, 今回の第3回は, IUMRS-ICAM-93として1993年8月31日から9月4日までの5日間, 第1回と同じく東京・池袋のサンシャインシティで開催される事になりました。今回は, 第1回と比べてシンポジウムの数が多く, 下記に示すように36の多くを教えています。各シンポジウムのオーガナイザーを掲げておきますので, 必要に応じて連絡をとられるようお願いします。日本で開催される IUMRS の会議を成功させるために MRS-J の皆様の積極的な参加をお待ちしています。今から論文発表の準備を開始して頂きますようお願い申し上げます。なお, サーキュラーは日刊工業新聞社 (03 (3222) 7162) にお問い合わせ下さい。(General Secretary : 山田, 中川, 安田)

Name of Symposia

Symposia

| | |
|---------------------------|--|
| A : (Composites) | Composites |
| B : (Glass) | Glassy Materials |
| C : (Powders) | Powder Preparation |
| D : (Computer) | Computer Applications to Materials Science & Engineering (CAMSE'93) |
| E : (Superplasticity) | Superplastic Phenomena in Ceramics, Intermetallics and Composites |
| F : (Interconnection) | Materials Interconnection-A Nover Approaches for Interconnection and Joining of Dissimilar Materials |
| G : (Corrosion) | Corrosion/Coating of Advanced Materials |
| H : (Shape Memory) | Shape Memory Materials |
| I : (Hydrogen) | Hydrogen Absorbing Materials and Hydride Batteries |
| J : (Structural Ceramics) | Structural Ceramics |
| K : (Ecomaterials) | Environmental Conscious Materials |
| L : (Magnet) | Rare-Earth Iron Base Permanent Magnet Materials |
| M : (C60) | C60 and Related Materials |
| N : (Biomaterials) | Biomaterials |
| O : (Catalyst) | Catalytic Materials |
| P : (Processing) | Advanced Processing |
| Q : (Polymers) | Ordered Polymers |
| R : (Response) | Photo- & Electro-responsive Materials |
| S : (Electronic) | Electronic Materials and Processing for ULSIs |
| T : (Biosensors) | Biosensors |
| U : (Ion Beam) | Materials Synthesis and Modification by Ion Beams and/or Laser Beams |
| V : (Storage) | Materials for Information Storage Media |
| W : (Silicon Ceramics) | Fabrication of Silicon Based Ceramics |
| X : (Frontiers) | Frontiers of Materials Science and Engineering |
| Y : (Diamond) | Diamond and related Materials |
| Z : (Gradient) | Functionally Gradient Materials |
| AA : (Grain Boundaries) | Grain and Interphase Boundaries |
| BB : (Nanophase) | Nanophase and Nanocomposite Materials |
| CC : (Superlattice) | Superlattice |
| DD : (Surface) | Surface and Interface |
| EE : (Organic Films) | Construction and Functions of Organic Thin Films |
| GG : (Microgravity) | Microgravity and Materials |
| HH : (Superconductivity) | Superconducting Materials |
| II : (Ferroelectrics) | Ferroelectrics |
| JJ : (Non Destructive) | Non Destructive Evaluation |
| KK : (Dielectrics) | Dielectric Materials |

Organizing Committee (Tentative)

Chairmen : Masao DOYAMA, Masaki HASEGAWA, Shigeyuki SOMIYA, and Shigehiko YAMADA

| | |
|-----------------------|--|
| A : (Composites) | M. Sakai, S. Yamada, E. Yasuda, L. Nicolais & Y. Huang |
| B : (Glassy) | T. Masumoto, A. Inoue, A. Makishima & L. Arnberg |
| C : (Powders) | K. Akashi, S. Ono, Y. Ozaki, & N. Mizutani |
| D : (Computer) | M. Doyama & M. I. Baskes |
| E : (Superplasticity) | M. Kobayashi, R. Raj, F. Wakai, & J. Wadsworth |

| | |
|---------------------------|---|
| F : (Interconnection) | N. Iwamoto, G. Elssner, T. Suga & R. E. Loehman |
| G : (Corrosion) | M. Yoshimura, J. Stringer & Y. Saito |
| H : (Shape Memory) | C. T. Liu, K. Shimizu, J. V. Humbeeck, K. Otsuka, & Y. Suzuki |
| I : (Hydrogen) | Y. Fukai, S. Suda & S. Ono |
| J : (Structural Ceramics) | H. Kawamura, K. Faber, R. O. Ritchie, J. K. Guo, G. Petzow & O. Kamigaito & O. Fukunaga |
| K : (Ecomaterials) | R. Yamamoto, E. Furubayashi, L. Gouth, F. Rongehann & L. Baixin |
| L : (Magnet) | M. Homma, Y. Imacka, M. Okada, S. G. Sankar, & H. Kronmueller |
| M : (C60) | E. Osawa, K. Tanabe, K. Kitazawa, D. W. Murphy & H. Kroto |
| N : (Biomaterials) | H. Aoki, Y. Sakurai, W. Bonfield & X. Miao |
| O : (Catalyst) | Y. Moro-oka, K. Segawa & J. N. Amor |
| P : (Processing) | K. Kijima, Y. Miyamoto, Z. Nakagawa, J. B. MacChesney, Z. A. Munir & M. I. Boulos |
| Q : (Polymers) | S. Ichihara, L. Monnerie, S. Nakahama, T. Nishi, L. A. Utracki & A. F. Yee |
| R : (Response) | M. Hasegawa, Y. Takimoto, T. Kudo, T. Yamaoka & T. Iwayanagi |
| S : (Electronics) | M. Kashiwagi, G. Kamoshita & M. Yasufuku |
| T : (Biosensors) | I. Karube & R. D. Schmid |
| U : (Ion Beam) | I. Yamada, C. W. White, E. Kamijo, & I. M. Buckley-Golder |
| V : (Storage) | S. Takayama, S. Uchiyama, G. S. Cargill III, M. Naoe & A. Itoh |
| W : (Silicon Ceramics) | M. Mitomo & K. Komeya |
| X : (Frontiers) | S. Somiya, M. Doyama, M. Hasegawa & R. Roy |
| Y : (Diamond) | M. Wakatsuki |
| Z : (Gradient) | R. Watanabe, I. Shiota, A. Kawasaki, B. H. Rabin & W. Bunk |
| AA : (Grain Boundaries) | Y. Ishida, D. A. Smith, S. Miura, J. B. Levy, D. Lin & H. Yoshinaga |
| BB : (Nanophase) | K. Niihara, K. Murata, R. W. Siegel & I. A. Aksay |
| CC : (Superlattice) | H. Sakaki & H. Ohno |
| DD : (Surface) | S. Kawai, H. Matsunami, M. Aono & R. F. Bruinsma |
| EE : (Organic Films) | T. Kajiyama & T. Kunitake |
| GG : (Microgravity) | K. Kuribayashi, A. Sawaoka, H. Hashimoto, R. S. Sokolowski, H. U. Walter & M. Z. Saghir |
| HH : (Superconductivity) | H. Koinuma, D. K. Finnemore, M. K. Wu, K. Togano & B. Raveau |
| H : (Ferroelectrics) | N. Ichinose & M. Murata |
| JJ : (Non Destructive) | T. Kishi |
| KK : (Dielectrics) | N. Ichinose |

General Secretary : Shigehiko YAMADA, Zenbe-e NAKAGAWA and Eiichi YASUDA

Registration

The registration fee depends on what category you are in the following.

| | | | | |
|---|---------------|--------------------|--|-------------------------|
| | No later than | After July 14, '93 | Deadline for Abstracts and Preregistration | January 31, 1993 |
| A : Overseas participants or domestic participant from university or public institution. | ¥ 49,000 | ¥ 59,000 | Notification of Acceptance for Presentation of Papers | March 1993 |
| B : First representative of a domestic private company | ¥ 99,000 | ¥ 74,000 | Third Circular w/Final Registration Form and Program | April 1993 |
| C : Other participants from the same branch of the above company | ¥ 64,000 | ¥ 74,000 | Final Abstract for Revision | April 30, 1993 |
| D : Student | ¥ 22,000 | ¥ 32,000 | Final Registration | May 30, 1993 |
| E : One day registration (only for speakers of university or public institution) | ¥ 30,000 | ¥ 40,000 | Deadline for Full Texts | June 30, 1993 |
| F : Banquet | ¥ 10,000 | ¥ 10,000 | Conference | Aug. 30 - Sept. 4, 1993 |
| The Framework of the Conference | | | Social Events | |
| Second Circular | October 1992 | | Get-Together Party | Aug. 30, 1993 |
| Preregistration Form | | | Banquet | Sept. 2, 1993 |
| Call for papers, typing instructions for abstracts and full papers will be announced in the Second Circular | | | Corresponding Address | |
| | | | IUMRS-ICAM-93 | |
| | | | c/o The Nikkan Kogyo Shimbun, Ltd. Business Bureau, 1-8-10 Kudan | |
| | | | Kita, Chiyoda-ku, Tokyo 102, Japan | |
| | | | Tel. (81)-3-3222-7162, Fax. (81)-3-3221-7137 | |

CAMSE'92の案内

CAMSE '92開催記念セミナー コンピュータによる分子・材料工学へのアプローチ ——コンピュータが創る材料・分子科学の世界——

近年、金属・有機・無機・複合材料から医薬品、バイオを含む材料科学・分子工学の分野でコンピュータ支援による研究が脚光を浴びています。実験では掴みにくい高速で、複雑かつ微細な研究は、コンピュータを使ったシミュレーションの数値を画面により、グラフィックスに表すことで、単に数値の羅列だけでは理解しにくい表現のビジュアル化を可能にしたことから、長足の進歩を遂げています。

本セミナーは、9月22日から26日まで、パシフィコ横浜で開催される「CAMSE'92」(分子・材料工学へのコンピュータ応用国際会議)のプレセミナーとして、斯界の権威あ

る講師により、実務レベルとして役立つ事例をもとに解説いたします。

日 時 1992年7月7日(火) 9:20-18:00

会 場 日刊工業新聞社本社セミナー会場
司会 山本良一(東京大学生産技術研究所教授)

9:20~9:30 あいさつ 堂山昌男(東京大学名誉教授, 西東京科学大学理工学部教授)

9:30~10:20 材料研究における電子論
藤原毅夫(東京大学工学部教授)

10:20~11:10 半導体材料・プロセス・デバイス 吉井 彰(日本電信電話(株)LSI研究所主幹研究員)

11:10~12:00 工業材料製造プロセスの数値シミュレーション 浅井滋生(名古屋大学工学部教授)

13:00~13:50 高分子材料 阿部明廣(東

京工業大学工学部教授)

13:50~14:40 生体高分子解析とタンパク工学 八尾 徹(三菱化成(株)システム総合センター技師長)

14:40~15:30 計算状態図 毛利哲雄(北海道大学工学部助教授)

15:50~16:40 分子動力学 能勢修一(慶応義塾大学理工学部助教授)

16:40~17:30 格子欠陥と不規則系物質
神藤欣一(東京工業大学工学部助手)

17:30~18:00 材料設計の将来 木原詢二(東京大学工学部教授)

定 員 100名

聴 講 料 20,600円

詳 細 日刊工業新聞社事業局国際事業部
(〒102 東京都千代田区九段北1-8-10,
Tel.03 (3222) 7162, Fax.03 (3221) 7137

MRS-J 新刊案内

MRS-Jの学術シンポジウムで発表された論文が本会の Transactions of the Materials Research Society of Japan として出版されました。会員価格は定価の10%引き(郵送料手数料込)で日本MRS事務局で扱っています。

申 込 先 〒213 川崎市高津区坂戸3-2-1 西304 (株)ケイエスピー 気付 日本MRS
Tel.044(819)2001 Fax.044(819)2009

Transactions of the Materials Research Society of Japan

Vol. 2 Symposium on Innovations in Basic Science into the 21st Century - A Renaissance for Materials Science in Japan, 204頁, 定価 7,000円(本体 6,796円)

Vol. 3 Symposium on Aluminum Nitride, 192頁, 定価 7,000円(本体 6,796円)

Vol. 4 Symposium on the Reliability and Lifetime Prediction of Engineering Ceramics, 220頁, 定価 10,000円(本体 9,709円)

Vol. 5 Symposium on Forming and Binders, 140頁, 定価 6,000円(本体 5,825円)

Vol. 6 Symposium on Zirconia Ceramics, 120頁, 定価 6,000円(本体 5,825円)

Vol. 7 Symposium on Advanced Materials, 179頁, 定価 7,000円(本体 6,796円)

Vol. 8 The Third International Symposium on Structural Imperfections in SiO₂-based Amorphous Materials, 445頁, 定価 15,000円(本体 14,563円)

Vol. 9 Materials Design by Computers, 260頁, 定価 6,000円(本体 5,825円)

Vol. 10 Symposium on the Development of Opto-Bio Materials, Sympos-

ium on Hydrothermal Reactions, 114頁, 定価 5,000円(本体 4,854円)

FORTHCOMING EVENTS

June, 1992

1-4
37th Int. Gas Turbine and Aeroengine Congress, International Gas Turbine Institute, 6082, Barfield Rd., Suite 207, Atlanta, GA 30328, USA
3rd I. Cf. on Trends in Welding Research, Catlinburg, ASM International, Materials Park, OH 44073, USA
1-5
1992年希土類国際会議, 京都, 565 吹田市山田丘2-1 大阪大学工学部応用化学科 足立吟也, Tel. 06-877-5111
3-5
The 7th International Microelectronics Conference, 横浜市, ハイブリッドマイクロエレクトロニクス協会, Tel. 0424-67-7602
6-10
第7回国際トリプトファン研究会議, 豊明市, 470-11 豊明市香掛町田楽ケ窪1-98 藤田保健衛生大学医学部生化学教室, Tel. 0562-93-2450
8-11
4th Int. conf. on Molten Slags and Fluxes '92, 仙台, 100 東京都千代田区大手町1-9-4 日本鉄鋼協会国際室, Tel. 03-3279-6021
9-11
I. Cf. on Stainless Steels '92, Stockholm, The Institute of Metals, 1 Carton House Terrace, London SW 1Y 5DB, UK
14-17
The Ernest Peters International Symposium on Hydrometallurgy Theory and Practice, Canada
15-17
I. Sy. on Automation in Fatigue and Fracture Testing and Analysis, Paris, Societe Francaise de Metallurgie, Immeuble Elysees La Defense, Cedex 35, 92072 Paris La Defense, France
21-26
1992 Powder Metallurgy World Congress, San Francisco, Metal Powder Industries Federation, 105 College Road East, Princeton, New Jersey 08540, USA
22-26
6th I. Cf. on Intergranular and Interphase Boundaries in Materials, Thessaloniki, Dr. E. K. Polychroniadis, Solid State Section, Dept. of Physics, Univ. of Thessaloniki, 54006 Thessaloniki, Greece
22-27
3rd I. Cf. on Aluminium Alloys, Trondheim, ICAA 3 STNTEF Metallurgy, N-7043 Trondheim, Norway
23-27
2nd Pacific Rim on Advanced Materials and Processing, Hangzhou, The Chinese Society of

Metals, 46 Dongsixi Dajie, Beijing 100711, China
24-26
Electronic Materials Cf. Cambridge, The Minerals, Metals and MATERIALS Society, Conference Dept. 420 Commonwealth Dr., Warrendale, PA 15086, USA
28-July 2
7th World Cf. on Titanium, San Diego, Japan Inst. of Metals, Avba, Aramaki, Aoba-ku, Sendai 980
28-July 3
I. Cf. on Advances in Corrosion and Protection, Manchester, Conf. Sec., Corrosion & Protection Center, UMIST, P. O. Box 88, Manchester M60 1QD, UK

July

6-9
4th International Conference on Structural Failure, Product Liability and Technical Insurance, Wien, 東京理科大学基礎工学部長万部教養部山田研究室, Tel. 01377-2-5111
12-15
PM '93-International Powder Metallurgy Conference and Exhibition, Kyoto, Japan Powder Metallurgy Association, Tamagawa Bldg., 2-16, Iwamoto-cho 2-chome, Chiyodaku, Tokyo 101
20-21
防錆防食技術発表大会, 東京, Tel. 03-3434-0451
28-30
テレビジョン学会, 北海道, Tel. 03-3432-4677

August

3-4
有機合成化学協会, 東京, Tel. 03-3292-7621
16-21
International Ceramic Conference and Exhibition World Congress Center, Melbourne, Victoria, Conference Secretariat, The Exhibition Network, P. O. Box 211, South Melbourne, VIC 3205, Australia
30-September 5
第4回生物物理と放射光国際会議, つくば市, 214 川崎市多摩区東三田1-1-1 明治大学工学部物理学科 三井利夫, Tel. 044-911-8181

September

日本粘土学会, 山梨, Tel. 03-3663-6004
1-2
第8回分析電子顕微鏡討論会, 東京, 無機材質研究所・板東義雄 Tel. 0298-51-3351
7-11
3rd International Conference on Cycle Fatigue

and Elasto-Plastic Behaviour of Materials, Berlin, Deutsche Verband fur Materialforschung und Prufung e. V., Unter den Eichen 87, D-1000 Berlin45, Germany
材料における拡散の諸問題国際会議, 京都, 京都大学工学部金属加工学科 小岩研究室, Tel. 075-753-5462
8-9
第36回材料研究連合講演会, 東京, 日本材料学会 Tel. 075-761-5321
10-11
日本醸造学会, 東京, Tel. 03-3910-3853
10-12
日本澱粉学会, 東京, Tel. 0298-38-8053
11-13
日本分析学会, 京都, Tel. 03-3490-3351
13-17
The 4th International Meeting on Chemical Sensors, Tokyo, Prof. Noboru Yamazoe, Graduate School of Engineering Sciences, Kyushu University, 39, Kasuga-shi 816, Fukuoka
21-25
1st International Conference on Nanostructure Materials, Cancun, Mexico, Dr. M. Jose-Yacamán, Instituto de Fisica, UNAM, Apartado postal 20-364, C. P. 01000 Mexico, D. F.
22-25
The 2nd International Conference and Exhibition on Computer Application to Materials and Molecular Science and Engineering, 東京, 日刊工業新聞社事務局 CAMSE '92 事務局, 東京都千代田区九段北1-8-10, Tel. 03-3222-7162
24-25
電気化学協会, 北海道, Tel. 03-3214-6001
28-29
三条材料技術国際フォーラム, 三条市, 長岡技術科学大学 石崎幸三 Tel. 0258-46-6972
October
プラズマ核融合学会, 仙台, Tel. 052-231-4535
1-3
日本油化学協会, 東京, Tel. 03-3271-716
日本地球化学会, 東京, Tel. 0423-64-3311-466
2-3
触媒学会, 新潟, Tel. 03-3444-2126
5-7
日本音響学会, 高知, Tel. 03-3379-1200
6-8
日本鉄鋼協会, 富山, Tel. 03-3279-6021
自動車技術会, 京都, Tel. 03-3262-8211
9
酵素工学研究会, 博多, Tel. 06-300-2561

9-12
日本生化学会,北九州, Tel. 092-641-1151
13-16
日本分析機器展,千葉, Tel. 03-3932-0642
28-30
第28回熱測定討論会,東京,日本熱測定学会
Tel. 03-3815-8514
30-Nov. 1
低温工学・超伝導学会,盛岡, Tel. 03-3818-4539

November

1-5
6th International Conference on Surface
Modification Technologies, Chicago, 長岡科学技術
大学 石崎幸三, Tel. 0258-46-6000
2-4
衝撃工学・技術に関する国際シンポジウム, 仙台,
東北大学工学部機械電子工学科, Tel. 022-222-1800
ex 4162
7-10
日本応用磁気学会, 名古屋市, Tel. 03-3501-8035
9-11
第28回 X線分析討論会, 東京, 日本分析化学会
Tel. 03-3490-3351
10-11
軽金属学会, 津田沼, Tel. 03-3273-3041
11-13
紙パルプ技術協会, 那智勝浦, Tel. 03-3249-4841
有田国際ファインセラミックスシンポジウム1992,
有田, 佐賀県庁商工政策課 Tel. 0952-24-2111ex
2512
16-19
全日本科学機器展, 東京, Tel. 03-3292-3561
16-20
食品ハイドロコロイドに関する国際会議, 305 っ
くば市観音台2-1-2 農林水産省食品総合研究所食品

物研究室, Tel. 0298-38-8031
17-18
第21回疲労シンポジウム, 京都市, 日本材料学会
Tel. 075-761-5321
17-20
熱処理国際会議, 京都市, Tel. 03-3461-7116
18-20
高圧討論会, 熊本市, Tel. 096-344-2111
19-20
International Symposium on Niobium Compoun-
ds, 東京, Prof. K. Tanabe, c/o New Materials
Dept. Nissho Iwai Corp., 4-5, Akasaka 2-cho-
me, Minato-ku, Tokyo 107, Tel. 03-3588-2473
22-23
第8回エル・エス・テイ学会大会, 東京, 東京大
学生産技術研究所 高井研究室 Tel. 03-3402-6231
ex2426
25
日本セラミックス協会東北北海道地区研究発表会,
札幌市, 北海道大学工学部 小平紘平
Tel. 011-716-2111ex6571
26-27
日本バイオマテリアル学会, Tel. 03-3291-9870
第6回ダイヤモンドシンポジウム, 南埼玉郡宮代
町, 日本ファインセラミックスシンポジウム
Tel. 03-3508-1845
27
日本セラミックス協会東海支部学術研究発表会,
名古屋市, 名古屋工業技術試験所 田端英世
Tel. 052-911-2111
26-Dec. 4
国際高分子会議, 横浜市

December

2-4
第9回日韓ニューセラミックスセミナー, 韓国,

慶州市, 名古屋工業技術試験所 日韓セラミック
スセミナー組織委員会 Tel. 052-911-2111

January, 1993

27
傾斜機能セミナー, 仙台市, 東北大学金属材料研
究所 平井敏雄 Tel. 022-227-6200ex3147
28-29
第31回セラミックス基礎科学討論会, 仙台市, 東
北大学金属材料研究所 平井敏雄 Tel. 022-227-
6200ex3147

April

21-23
International Conference on Hot Isostatic
Pressing, Antwerp, HIP 93, c/o TI-KVIV, Ms.
R. Peys, Desguinlei 214, B-2018 Antwerpen,
Belgium

July

June 28-July 2

16th International Conference High Pressure
Science and Technology and 1993 Technical
Meeting of the Topical Group on Shock Compression
of Condensed Matter, Dr. J. W. Shaner, Joint
Conference on High Pressure Science and Techno-
logy, Los Alamos National Laboratory, MS
P915, Los Alamos, NM87545, USA

12-15

1993粉末冶金国際会議, 京都, 粉体粉末冶金協会,
107 東京都港区赤坂8-5-32 赤坂山勝ビル (株)インター
グループ, Tel. 03-3479-2472

28-31

JIMIS-7:結晶性材料の高温における変形と破壊の
様相国際シンポジウム, 名古屋, 980 仙台市青葉
区青葉 東北大学工学部材料物性学科 及川洪,
Tel. 022-222-1800

MRS-J だより

- [1] 第3回 IUMRS (3rd Intern'l Uni-
on of Mater. Research Soc. 池袋,
1993年・8月)の諸準備 (於・日刊工
業新聞社)。
(1) 30余名の各シンポジウムのチェアーズ,
日刊工業新聞社に集合, 来日中のチャン
グ会長出席のもと, この国際会議開催の
趣旨, 内容詳細の説明会。
(山田委員よりチャング会長へ公式に,
MRS という学会の最大の特徴を問い,
「学際としてのユニークな存在」という
回答が示された。)
(2) 第1次サーキュラーの作成準備会議 (4
/9)。
その他, 新宿・プリンスホテル (3
/20 他) でも公式打合せを実施。
[2] 前会長・宗宮教授 (西東京科学大学・
理工学部長), 山田・同大学教授と共に,

ノースウエスタン大学・チャング会長
を訪問。

4月18日, シカゴ空港に同会長の出
迎えを受け, ノース・ウエスタン大学
の同会長研究室を訪問。昼食, 夕食を
共にして, 長時間, MRS 関係当面の
諸問題を討議した。

- [3] 前会長宗宮教授, 山田教授ほか, 西東
京科学大学の4教授とともにペンシル
ヴェニア州立大学, ラスタム・ロイ教
授らを公式訪問。

文部省の国際共同研究に関して打合
せたが, 同時に, MRS に密接な関係
をもつロイ教授と4月16, 17の2日間
にわたって歓談し, MRS/J として極
めて有意義な時間を持つことができた。

- [4] IUMRS のボード4名の一人である西
東京科学大学・山田教授は4月15日,

アメリカ・アルコア社の要請により,
同社の研究所 (ピッツバーグ近郊所在,
所員1,200名のジャイアントラボ) に招
かれ, セミナーを実施。日本人として
は最初の講師であったが, カーボン材
料といういわば境界領域的 (金属, プ
ラスチックス, セラミックス3大材料
の谷間の存在) な物質の同教授の研究
史について詳細解説がなされ, 活発な
討論の際, 第3回 IUMRS (上述) に
ついての質疑もあった。

その際, 数名の研究員より, IUMR
S に論文を提出したいので, 各シンポ
ジウムの内容, 趣旨を早く知らせて欲
しいとの要請あり。IUMRS への興味
の理由は, 他の学会には見られないユニ
ークな学際感覚に魅力をもつためとの
ことであった。(山田)